

新春経済講演会

働き方の「常識」を疑ってみる

1月28日、観光ホテルにおいて「明るい未来のため、今できること」と題し、昭和女子大学 特命教授の福沢恵子先生をお招きし、ご講演をいただきました。

女性労働を「軸」とした社会や企業の変化の調査から、「新しい働き方」「新しいマネジメント」について調査研究と実践をしており、少子・高齢社会化では労働力の確保、税収、社会保険制度など山積みである。成長戦略として「女性の活躍」があげられる。キーワードはワーク・ライフ・バランス＝仕事と生活の調和とし、第2の職業のチャンスから社会の流動性や「学ぶ」「発見」の機会を提供できる社会の実現、会社・仕事・家庭など常識を疑い、働き方を考えることを提案されました。



昭和女子大学 特命教授
福沢 恵子 氏

1/28 [tue] 於：観光ホテル

1/24 [fri]・25 [sat]

災害対応ロボット 世界のイノベーションを体感

県と若狭湾エネルギー研究センターはエネルギー研究開発拠点化計画の一環として、災害対応ロボットを24日、25日ときらめきみなと館に全国から一同に集めました。原発事故など作業現場において、災害対応関係者の安全を確保するため、様々な研究開発が行われています。今回は、実際に東京電力福島第一原発で使われているロボットも展示されていました。27の企業、大学、研究機関などが25のブースを出展しました。

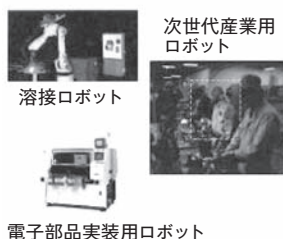


次世代ロボット

ロボットとは

- 【定義】「センサー、駆動系、知能・制御系の3つの要素技術を有する、知能化した機械システム」
→ 自動車、家電、航空機、工作機械、産業機械、建機…
- ロボットは、工場における生産財として使用される「産業用ロボット」と、
- 医療・福祉やメンテナンス、生活支援、アミューズメント等、多様な用途への活用が期待される「サービスロボット」に大別される。

産業用ロボット



電子部品実装用ロボット

サービスロボット



(出典：各社のホームページ)

ロボットの利活用が期待される分野

ロボットは、6千億円産業から
2020年には2.8兆円、2035年には9.7兆円に成長。

少子高齢化による労働力人口の減少・作業付加の増大への対応や製品・サービスの質や生産性のさらなる向上の必要性から、次世代のロボット技術によるQOL・生産性の向上の期待は高い。但し、普及拡大には、利便性と安全性の向上、低コスト化が課題。

○公共・防災分野

防災・減災対策の先進技術として期待。メンテナンス分野にもニーズ。3K作業支援。

○生活・福祉分野

ライフ・イノベーションの先進技術として期待。
介護労働者等の負担軽減、要介護者の自立支援・移動支援。

○製造業分野

柔軟な対応が可能な次世代プロセス・イノベーションのコア技術として期待。国内にものづくり産業を維持する鍵。

(出典：講演会資料)